

平成26年度 第5回 伊勢市地域自立支援協議会 会議録要旨

開催日時	平成26年12月4日(木)午後18時30分～
開催場所	伊勢市役所東庁舎3階防災スペース
出席委員	浦田宗昭委員、中井眞知子委員、前村裕司委員、笹山武志委員、松崎まみ委員、山本とみ委員、岡部浩美委員、丸谷紀子委員、齊藤 茂委員
欠席委員	山路克文委員
事務局	高齢・障がい福祉課長、係長 伊勢市障害者総合相談支援センターフクシア職員2名
傍聴者	1名

1. 各課題別チームの報告

●いきいきチーム

「パーソナルカルテ就労支援版」

目的：情報共有、情報管理、本人等が説明を繰り返す負担を軽減、連携した支援の提供など。

今後：作っただけにならないように、関係者の必要性の共有がまず必要であり、メリットの周知を機会ごとにPRしていき、じっくり育てていく。

「職場実習制度の創設」

現状の制度は使いにくいので伊勢市モデルの職場実習制度を検討中。

目的：実際に仕事をしてみることでご本人が一般就労への理解を深める機会にして頂く。また、企業への障害者就労へのPR。

今後：まず、作業所の利用者で、可能な企業で一度やってみる。その後、振り返り等にて検討していく。実習受け入れ企業の拡大のため、就労マルシェや、地域行事において障害者就労をPRすることも検討していく。

●せいかつチーム

「理念研修（本人中心支援研修）11月25日」

障害福祉サービス等の質の担保を図る上で、根底となる支援者としての「理念」に関する基礎研修を開催した。まず、本人中心支援について支援者として日頃感じている葛藤や悩みどころを、本音で出し合うという内容。

- ・家族の希望と本人希望や支援者の見解とに差異がある場合の本人中心支援
- ・コミュニケーションが困難な方や、真意が分かりにくい方の希望や意思に基づく本人中心支援

等の意見が出された。

当初3回シリーズ研修と予定していたが、上記第1回の内容が想定よりも支援者としての「気づき」から遠く離れている現状のため、今後について再度チーム会議を開催し、方針等を検討していく予定。

●しっていますかチーム

「情報交換会開催（11月4日）」

対象：幼稚園・保育園、小学校（特別支援学級、特別支援学校（玉城わかば学園、度会特別支援学

校) 在籍児童の保護者

テーマ：「途切れない支援」（パーソナルカルテ伊勢市版説明含む）

参加：保護者 13 名（こども課、教育委員会、健康課、高齢・障がい福祉課）

内容：パーソナルカルテの説明を受けての意見や、途切れない支援のための発達支援室、長期休暇・放課後の過ごし方等の意見が出された。また、情報開示について、本会はホームページで会議録を公開しているが、課題別チームの内容公開はないため、進捗状況等を誰に聞けばよいのか？等の意見が出された。

今後、別の年代の方対象に情報交換会を開催予定。

また、課題別チームとしてのこども部会の創設について、委員の決定がなされそうな状況であり、今年度中に会議を開催する方向で進めていきたい。

【各委員主な意見】

- ・せいかつチームの理念研修について、支援の仕方ではなく、理念の考え方の研修になるように進めて頂きたい。
- ・いきいきチームの職場実習制度の創設について、実習可能な企業を探していく際に、若者就業サポートステーションでのかかわりのある企業や作業所の外勤先等も活用できる。また、就労時の補助金がもらえる場合、事前に接触があると対象外になる等があるので、考慮に入れて頂く必要がある。
⇒ハローワーク担当者も委員で入っており、お金のやり取りはせず、双方が体験であると理解しておく必要等を確認している。
精神障害のある方や、知的障害のある方など、仕事への不安の内容が異なるので、見学から、体験から、3日から3ヶ月から、支援者も一緒に入るなど、いろいろなコースがあると良い。
⇒作業所利用中の方の場合、作業所支援者も協力も出来ること、また保険もクリアー出来るという点から、まず作業所利用中の方から一歩始めていく予定。
- ・していますかの途切れない支援について、児相や市町など分けられていたり、大変な親の状況があってもショートステイが十分に利用できにくかったりする施設を感じる途切れている現状もあり、こどもの将来を見据えて考えていただきたい。
⇒こども部分の創設を進め、こども部会で掘り下げて検討し行けるように繋げていきたい。
- ・支援から漏れている方が居るのではないかとその視点を持ち、漏れてしまっている方を救う枠組みの検討が必要である。

2. その他

●高齢・障がい福祉課より報告：

「地域相談支援センターの増設について」

平成 25 年度からフクシアにて地域相談支援と基幹型の事業を行ってきたが、地域相談の支援者は 2 名であり電話もつながりにくい等ご迷惑かけていた現状。

そのため今後、地域相談支援の委託を 2 カ所増設し、地域相談支援センターを 3 カ所にし、住所地別で各センターごとに担当地域を作らせて頂く予定。伊勢市広報（2 月 1 日号）にて、周知をさせて頂く予定。今後、フクシアから新しいセンターへの利用者の方々の支援の引き継ぎを丁寧に行っていきたい。

「計画相談支援について」

計画相談の進捗率は 11.8%であるが、現在市内に 3 か所の事業所があり、今後も事業所増加予定

が3ヶ所具体的になってきている等の状況である。

児童の保護者の方々への計画相談に関する伊勢市からの説明が、前回セルフプランの話が中心となっていたが、伊勢市としては、セルフプランは希望者のみであり、事業所による専門相談が適切であり、再度児童の保護者の方々への説明会を行う予定であり、希望事業所の意向調査も行う予定。

【各委員主な意見】

- ・地域相談支援センターの増加について、完全に地域別で担当センターが分かれるのか？

⇒その通り。ご案内やご説明等を丁寧に進めていきたい。

- ・計画相談支援について、他の地域に比べて状況はどうか？

⇒H26年10月現在として、四日市圏域：11か所、伊勢志摩圏域：12か所等。左記に加えて、今後増加予定があるという状況であり、進捗率は、順次増えていく予定。

●その他報告

「手話言語条例について（来年度制定へ向けて）」

手話言語法の創設を求める意見書が聴覚障害者団体から出されている。今後、差別解消法にて合理的配慮が求められる状況や、手話は言語であると障害者基本法にも定められている状況もあり、手話を広げるという趣旨である。

今後、当事者や手話通訳者等が集まり、本人からの話を受けて、それぞれ何ができるのか話し合う等を行っていく予定。

「伊勢市障害者計画、障害福祉計画について」

今後の予定として、計画の素案へのパブリックコメントの募集（12月15日～1月14日）、市民からの意見聞き取り（12月）を行う予定。委員にはメールで進捗状況等の情報提供をさせていただきます。

「自立支援協議会 懇談会について」

自立支援協議会の報告会として、障害福祉計画等の策定報告も含め実施していく。

日程：H27年3月（土日）午後

内容：自立支援協議会の報告 + 講演（必要に応じ外部講師検討）

周知：チラシ作成し周知、広報にも掲載予定